

博士人材のキャリア開発 海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

■ ご紹介資料 ■

Contents

東京海洋大学は
「博士人材のキャリア開発」に取り組んでいます

1 はじめに

東京海洋大学の取り組み

2 博士人材の育成

これからの博士人材と大学に求められる対応

3 プログラムの概要

海洋関連人材キャリアパス開発プログラムの概要

4 博士人材への期待

産業界で求められている理系博士人材の活躍

5 博士の就業体験

長期インターンシップは博士人材が就業体験する貴重な機会

6 受入企業の声

長期インターンシップは企業にとっても新鮮

7 ご支援のお願い

様々な分野で活躍できる博士人材の育成をご支援ください

8 年間スケジュール

キャリア開発室の年間イベント開催予定



● 東京海洋大学の取り組み

「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」 に取り組んでいます

東京海洋大学は、平成23年度に文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・インターンシップ推進事業」に採択され、本学ポストドクターおよび博士後期課程学生のキャリアパスの構築に取り組んでいます。

本事業は、環境調査・海洋観測・食品・流通等の分野において、本学と企業や団体の皆様とが連携した長期インターンシップやキャリア開発に関する講義およびワークショップ等を通じて、今後の社会経済の各分野において指導的役割を果たすとともに、国際的に活躍できる高度な専門能力を有する人材を養成することを目的としています。

我が国唯一の海洋の総合大学です

本学は、我が国唯一の海洋の総合大学として海洋に関する教育研究や人材養成に精力的に取り組んで参りましたが、この度文部科学省の補助を受けて、ポストドクターなど博士人材のキャリアパス開発支援に一層注力することになりました。

本事業が、海洋関連産業のさらなる発展につながると期待しています。

東京海洋大学長

博士人材の多様なキャリアパスの構築を図ります

海洋関連産業界の業務には、本来高い専門性が求められます。しかし、近年のグローバル化に対応した業務水準の向上には、更に高度な能力を有する博士人材の供給が課題となっています。

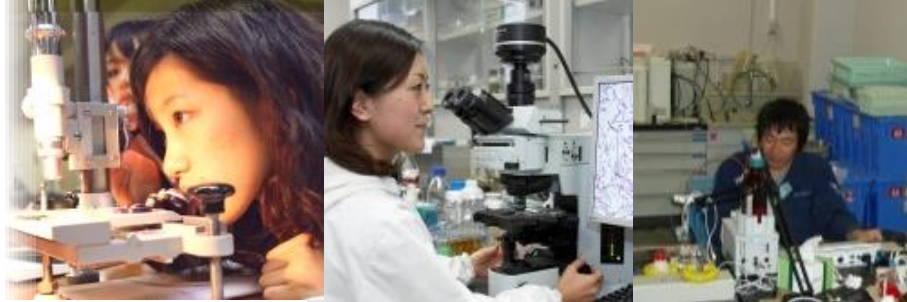
本事業では、本学と関連分野の企業や団体の皆様との連携を強化し、そのニーズも踏まえつつ、本学の博士人材の多様なキャリアパスの構築を図っていきます。

本事業には企業や団体の皆様のご協力が必要です。積極的なご参画およびご支援を賜りますようお願い申し上げます。

キャリア開発室長



博士人材の育成



● これからの博士人材 と 大学に求められる対応

大学への期待

- 社会の活力となるべき若い博士人材が、産・学のそれぞれの枠を超えて活躍できる場を構築する。
- 博士・企業・大学の三者が各分野における博士人材の位置づけの認識を共有し、博士人材が社会で広く活躍できる仕組みをつくる。
- 連携企業を拡充し、長期インターンシップをはじめとする博士人材と企業や団体等との円滑な疎通を支援する。
- 社会と博士人材とをつなぐ充実したワークショップやセミナーを企画し、様々な分野で高度な能力を発揮できる博士人材を育成する。

博士人材への期待

「物事の問題点を見出し、解決する能力」が必要

単純なことのようには思われますが、これには我慢強さ、アイデア創出、コミュニケーション力などの総合的な能力が必要となります。多彩な事業を展開する企業や団体等では特にこれらの能力が求められ、人材開拓でも重要視されます。

また、現代の社会に必要とされるのは、国際的にも活躍できる高度な専門能力と応用力を有し、強いリーダーシップを発揮できる人材です。

総合的な能力を備えた人材として育成する

博士人材は、博士号取得の過程でこれらの素養を身につけており、即戦力として社会で活躍できると期待されています。

大学がすべきことは、博士号取得者に対して、研究者育成の体制を保持しつつ、広く社会に適應できる総合的な能力を備えた人材として育成するための仕組みと支援体制を構築することであると考えています。



プログラムの概要



● 海洋関連人材キャリアパス開発プログラムの概要

海洋関連の産業界でグローバルに活躍する 博士人材の育成を目指して

長期インターンシップ

本学ポストドクターおよび博士後期課程の学生が、本学と企業や団体の皆様とのマッチングシステムを利用して3か月程度の就業体験を実施します。

また、インターンシップ期間中は、給与(ポストドクターの場合のみ)および交通費等の費用を本学が負担します。

キャリア関連の講義・ワークショップ

※年10回程度開催予定

専門分野にとらわれず、社会人として就業に必要な知識やスキル等について、第一線で活躍する方々による講義を実施します。

(例) 民間企業等で活躍する博士号取得者による体験談を基にした講義等

懇談会

※年2回程度開催予定

企業や団体の皆様と意見交換や交流を行い、社会人として必要な知識等を直接学ぶ機会づくりを推進します。

合同セミナー

※年5回程度開催予定

専任教員や企業・団体等の第一線で活躍する方々が、専門的な知識やスキルを高めるため、ケーススタディ等を活用したキャリアパス開発のための講義を実施します。

(例) 産業界ロールモデルによる専門技術等の講義等

キャリア相談

専門スタッフによる、キャリア開発の相談窓口をキャリア開発室に設置しています。また、ウェブサイトを通じてのオンライン相談も受け付けています。



博士人材への期待



● 産業界で求められている理系博士人材の活躍

博士号取得者の進路状況

● 民間企業への就職希望者は増加傾向にある

近年、民間企業への就職を希望する博士号取得者は、少しずつ増加する傾向にあります。これは、企業や団体等が産業分野のグローバル化を背景に、高度な知識と技術をもつ博士人材を求めている現状を反映しているためといえます。

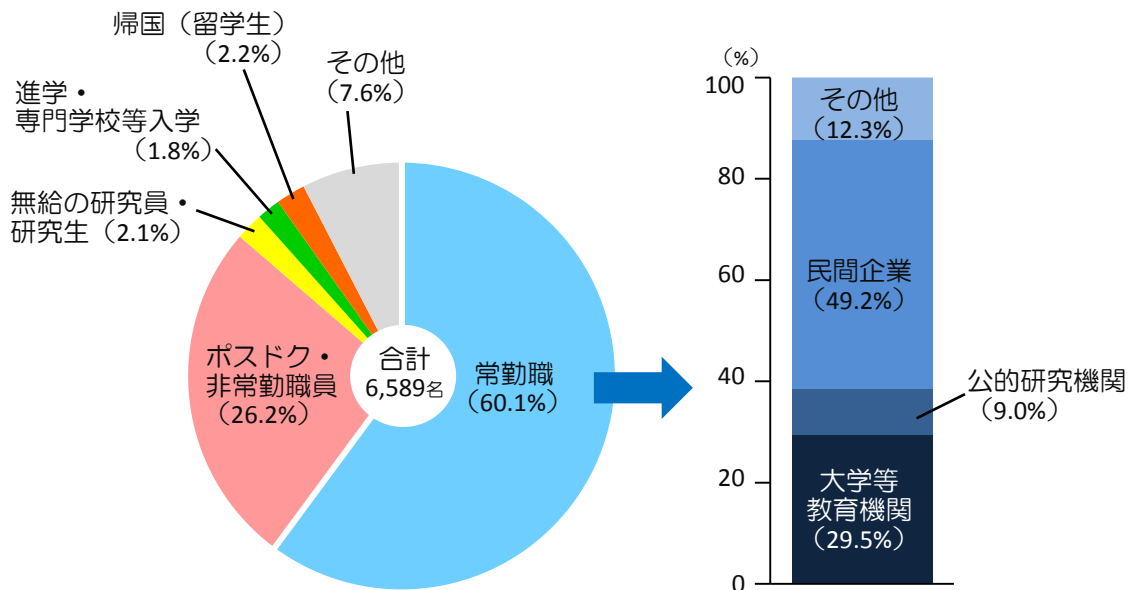
● 博士人材の活躍が期待されている

いま、日本の産業界や民間企業では、国内外の関連会社との共同事業や競争を経て生き残るために、高度な専門知識と技術を備えた博士人材の活躍が期待されています。

しかしながら、博士の能力をアカデミアの世界で発揮することを望む博士号取得者がまだまだ多いのも現状です。

● 文部科学省の動向

教育機関や研究機関で就業を希望する者は、常勤・非常勤を合わせると博士課程修了者のおよそ45%に及び、日本の常勤研究者としての正規雇用枠を大幅に上回っています。文部科学省は、2020年までに理工系博士課程修了者の完全雇用の達成を目指すことを表明しています（平成22年6月閣議決定）。



平成21年度の理工農学分野における博士課程修了者の進路動向(左)と、博士課程修了直後に常勤職に就いた者の就職先の内訳(右)
出典：「博士課程修了者の進路実態に関する調査研究」（株式会社日本総合研究所, 2011）



博士の就業体験



● 長期インターンシップは博士人材が就業体験する貴重な機会

研修を修了した博士たちの共通した生の声（終了報告より抜粋）

■ 企業での長期インターンシップでは、様々な考え方や仕事に対する態度を肌で体験できた。

- 知識の多さも然る事ながら、その範囲の広さが求められることが多かった。
- 社会に出て仕事をするためには、自分に何が不足しているかを具体的に実感した。
- 企業においても、自分の知識や経験を活かせることが分かった。

■ 企業での就業は、これまでのイメージとは異なることに驚かされた。

- 限られた時間内に業務をこなすスピード感
- 問題分析力や解決方法を導く能力
- 情報を正しく伝達し、共有するコミュニケーション能力
- 社員の妥協しない強い意志

■ 顧客が何を望んでいるかを理解しなければ、価値のある問題解決にはならないことを学び、顧客目線で考えることの難しさを痛感した。

■ 企業に対するイメージが大きく変わり、研究職だけでなく企業への就職も選択肢として考えるようになった。

- 今後のキャリアパスを見据え、専門分野に囚われない広い視野と知識を得ることを常に意識するようになった。
- 自分の知識・認識に偏りが生じていることが確認できた。今後は、幅広い分野の情報も積極的に収集して技能を磨きたい。
- 博士号取得者が、企業に新たな考えや発想をもたらし、より高品質な生産性を生み出すことに貢献したい。

■ 研修を終えた博士たちの意気込み

専門分野以外でも活躍できるよう、広い視野で様々なことに積極的に挑戦していきたい。研究で培ってきたものを忘れず、社会で求められる能力を磨き続けたい。



● 長期インターンシップは企業にとっても新鮮

企業担当者様から「博士に対する意識が変わった」と多数の声

■ 研修受入前は、博士号取得者の採用には一定の距離をおいていた

- 狭い専門分野を研究するあまり、視野が狭く、コミュニケーションに欠けるのではないか。
- 博士号取得者を採用すると人間関係が壊れるのではないかという先入観もあった。

しかし、研修生を受け入れてみて全く違うということを認識した

■ 博士号取得者の採用を敬遠してきたが、今後は採用する方向で進めたいと考えるようになった

- 博士は大学で培った先端的技術を持っており、企業にとってもその能力と知識は非常に刺激的である。
- 研修生は想像以上に協調性があり、博士のイメージが大きく変わった。

また、今後も継続して長期インターンシップの研修生を受け入れたい

■ 大学が、社会人としてのマナーやルールを事前に指導してくれている

- 研修生は社会人としての立場を理解しており、社員とのコミュニケーションも全く問題なかった。

■ まだ研修生を受け入れていない企業からも

- 大学が進める講義・ワークショップやセミナーは企業にとっても魅力的であり、今後は博士人材の育成に積極的に協力したい。
- 来年度からは研修生を受け入れたい。

■ 企業はグローバル人材の採用を進めている

- 留学生も含めて長期インターンシップに協力するので、博士として高い能力を持ち、国際的な場で働ける人材をぜひ輩出して欲しい。



● 様々な分野で活躍できる博士人材の育成をご支援ください

博士人材の長期インターンシップ受け入れをご検討ください

本学は、自らの能力を様々な分野で発揮しようとする博士人材に講座教育と長期インターンシップ（企業や団体等での実務研修）の機会を与え、キャリア開発の支援をしています。

博士後期課程進学者の多くは、学位取得後の進路としてアカデミアと企業の両方を考えています。また、ポストドクターの中には、企業への再就職も視野に入れて研究を続けている者もいます。

長期インターンシップは企業への就職だけを目指すものではなく、新しい環境で研究や仕事に対する姿勢を学ぶことで、「博士」としてのモチベーションを向上させるという目的を持っています。

また、企業におかれましても、高い専門性と幅広い知識を持つ博士人材の、即戦力としての資質をじっくりご検討頂ける機会にさせていただければと考えています。

大学の研究室で生まれた知識や技術を産業に応用する機会です

研究室で生まれる知識や技術は、論文などを通じて社会に公表されますが、それらが必ずしも産業への応用につながるとはかぎりません。本学は、知的財産や産業財産を適切に保護しつつも、その知識および技術を社会で積極的に応用し、産業界でイノベーションを創出するきっかけを作りたいと考えています。

本プログラムの長期インターンシップやワークショップ等では、企業のニーズと博士人材の能力との調和によって、新規の研究・事業が立ち上がる可能性もあります。

将来的には、企業と本学との共同研究に発展することも期待できます。

関連ワークショップや懇談会での交流をお願いします

本プログラムでは、企業や団体等から講師をお招きする講義・ワークショップや、関係者と博士人材が直接意見交換や交流を行う懇談会を定期的に行っています。これらが、本学博士人材の能力や将来の就業に対する希望等を、企業の皆様と共有する場となり、両者をつなぐ契機となれば幸いと考えています。

是非、これらの活動にご賛同いただき、社会に必要とされる博士人材の育成について、一緒に考えていただく機会となることを願っています。

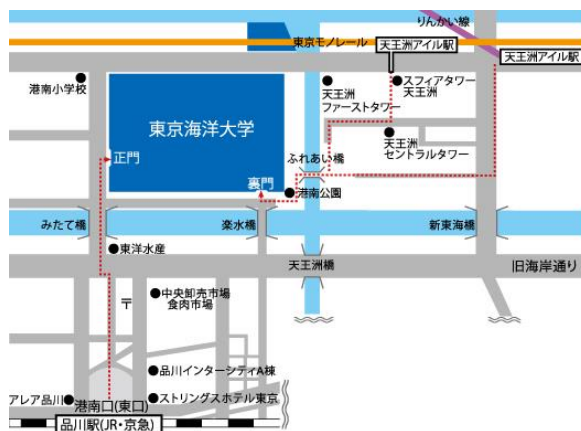


● キャリア開発室の年間イベント開催予定

	長期 インターンシップ	講義予定	ワークショップ 懇談会
4月	公募開始	第1回開催	
5月	選考	第2回開催	
6月	派遣開始	第3回開催	
7月		第4回開催	
8月			
9月		第5回開催	第1回開催
10月		第6回開催	
11月		第7回開催	
12月		第8回開催	
1月		第9回開催	
2月		第10回開催	第2回開催
3月			

交通アクセス

品川キャンパス(海洋科学部)



- ・JR線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分
- ・東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分
- ・りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分

※正門から入ってすぐ左手にある白鷹館の2階、海洋観測支援センター内にあります。

お問い合わせ

国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

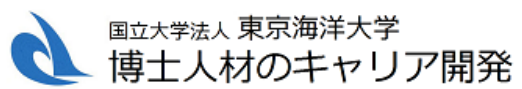
電話 : 03-5463-0575

Email : career@m.kaiyodai.ac.jp

WEB : <http://www.kaiyodaicareer.com/>

博士人材のキャリア開発

海洋関連人材キャリアパス開発プログラム



国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

電話 : 03-5463-0575

Email : career@m.kaiyodai.ac.jp

WEB : <http://www.kaiyodaicareer.com/>